



はごろも祭りカチャーシー大会に参加する市議会議員

8月9日に開催された宜野湾はごろも祭り飛衣羽衣カチャーシー大会へ、宜野湾市議会チームとして特別枠で参加(賛助出演)しました。15名の議員が息の合った演舞を披露し会場を大いに盛り上げました。

ぎのわん 第96号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411 (内337)
印刷 文進印刷株式会社



議会基本条例の制定に向け、市女性団体連絡協議会、市青年連合会、市PTA連合会と意見交換を行う宜野湾市議団

定例会の経過

6月	9日	議会運営委員会
	11日	会期の決定、案件上程、説明
	15日	上程案件に対する質疑、委員会付託
	16、17日	各常任委員会議案審査
	22、24日	経済建設常任委員会
	19、22 24~26日	一般質問 (質問者20名)
	25日	議会運営委員会
	26日	経済建設常任委員会 議会運営委員会 議会改革に関する調査特別委員会
	29日	議会運営委員会 各常任委員会の審査報告及び表決 全員協議会

**中小企業等の振興に関する施策推進に向け、
中小企業・小規模企業・小企業振興基本条例を
全会一致で可決!!**

6月 定例会 会期 6月11日～6月29日

第391回宜野湾市議会定例会は、6月11日から6月29日までの19日間の会期で開かれました。

今定例会は、一般会計補正予算(第1号)や「中小企業・小規模企業・小企業振興基本条例」、「ターウムの日に関する条例」のほか、「老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例」など、26件にわたる議案等が審議され、20名の議員による一般質問も行われました。

6月定例会
主な議案審議経過

地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正に係る関係条例の整備に関する条例制定 **可決**

議案の概要は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の規定を整備する条例制定である。

議案審査では、教育委員長と教育長の一本化後の新教育長の任命権を首長が持つことによる教育行政への影響について質疑がなされ、これに対し、新教育長の事務執行については教育委員がチェック機能を担い、教科書選定や教職員人事などは、これまでどおり教育委員会が行うとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、市長が新教育長の任命権を持つことにより教育行政への影響力が高まり、教育の中立性が守られない等の懸念があるとの反対討論に対し、新教育制度でも教育委員会は首長から独立した行政委員会として位置づけられ、教育委員の身分の保障により教育行政の安定性が確保できるとの賛成討論がなされ、起立表決の結果賛成多数(反対八名)で原案のとおり可決された。

老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について **可決**

議案の概要は、本市の老人福祉センターについて、平成二十八年年度より指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上及び効率的な管理運営を図るための条例改正である。

議案審査では、開館時間の延長や開館日の拡大について質疑がなされ、これに対し、これまで休館日であった土日は、年末年始と慰霊の日を除き開館するとともに、開館時間についても、平日は午後九時まで延長し、土日祝祭日は午後五時まで開館すると答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、開館時間の延長等は指定管理者制度を導入しなくても可能であり、また当該施設利用者の多くは比較的消費意欲の低い高齢者であり、指定管理者においてサービスの向上と利益を両立できるか疑問が残るとの反対討論に対し、財政効果、利用者の拡大、開館日の拡大、事務の負担軽減など、市民サービスのさらなる向上と効率的な運営に資するととの賛成討論がなされ、起立表決の結果、賛成多数(反対八名)で原案のとおり可決された。

決議・意見書

六月十一日の本会議で「米八ワイ州ペロース空軍基地におけるオスプレイの事故に対する抗議決議及び意見書」が全会一致でそれぞれ可決され、本会議終了後、沖縄防衛局長へ直接要請を行った。

議員からは、事故原因の究明や、その間の飛行訓練の中止、日米合意の遵守の徹底等について要請がなされ、沖縄防衛局長からは、「米側に対し、オスプレイ運用については安全面へ配慮するよう申し入

れを行っており、着陸失敗の原因等の情報が得られ次第、丁寧に説明してまいります」との回答があった。



米国ハワイ州ペロース空軍基地におけるオスプレイの事故に対する抗議決議

去る5月18日に米国ハワイ州ペロース空軍基地において米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイが訓練中の事故で乗員2名が死亡、多くの乗員が負傷した件で、事故機と同型のMV-22オスプレイ24機が常駐する普天間基地では翌19日から飛行を自粛するどころか住宅地上空で訓練等を続けていることに対し、日米両政府は飛行中止もせず、危険を放置することは断じて容認できない。

本市においては2004年8月に沖縄国際大学に墜落激突炎上したCH-53ヘリなど、他の軍用機の訓練も日常的に繰り返され、市民の生命・財産は常に危険にさらされ、その不安と恐怖は極限に達している。よって本市議会は、今回の事故は市民に直接の被害はないものの事故機と同型のMV-22オスプレイが常駐し、原因究明もなおざりにされ飛行訓練を続けることに強い怒りを持って、米軍とそれを放置する日本政府に強く抗議し、下記の事項を速やかに実現するよう強く要求する。

- 1. 普天間基地配備のMV-22オスプレイの即時撤去
- 2. 普天間基地を絶対に固定化することなく、一日も早い閉鎖・返還以上、決議する。

《あて先》 駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官、在沖米国総領事
(決議) 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長
(意見書)

マスコミ報道による百田尚樹氏の沖縄侮辱発言に対する抗議決議

マスコミ報道によると、6月25日に開催された、文化芸術懇話会において、貴殿が発言した内容は、「普天間基地は田んぼの中にあり、周りには何もなかった。基地の周りに行けば商売になると、みんな何十年もかかって基地の周りに住みだした。基地の地主は大金持ち。基地が出ていくとお金がなくなるから困る。沖縄は本当に被害者なのか。」等の発言は、沖縄の歴史に対する無理解からくるものである。

現在の普天間基地は、戦前10の集落があり、村役場や郵便局が存在する村の中心であったが、先の大戦によって強制的に奪われたものである。宜野湾市のど真ん中に481ヘクタールの基地があるがゆえに基地の周辺に住むしかないという現実がある。

また、軍用地主が大金持ちとの発言についても誤りがある。宜野湾市内の軍用地の借料は平均200万円である。事実と異なる表現であるばかりか、県内外の人々に誤解と不信を与えかねない。加えて先祖伝来の土地を強制的に接収された地主のみなさんの尊厳を傷つける発言であり容認できない。さらに、「沖縄2紙はつぶさないといけなし」という発言は、表現の自由を封じる言論であり看過できない。

よって、宜野湾市議会は貴殿に対して発言の撤回と謝罪を強く要求する。

《あて先》 百田尚樹 殿

第三九〇回 臨時会の経過

さらに、本会議最終日には、作家の百田尚樹氏の文化芸術懇話会における沖縄侮辱発言について「先祖伝来の土地を強制的に接収された地主の皆さんの尊厳を傷つける発言であり、容認できない」として、発言の撤回と謝罪を強く要求する抗議決議を全会一致で可決した。また同日付で桃原功議員、外七名から提案された「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書は反対討論及び賛成討論がそれぞれなされ、起立表決の結果、賛成少数(反対十七名)で否決された。

五月二十六日に開かれた臨時会は、市税条例及び国民健康保険税条例に関する専決処分の承認、国民健康保険特別会計補正予算(第一号)など、四件の議案が提案された。二件の専決処分に関しては、自治体の重要な財源である市税が、毎年専決処分で行われることは、地方自治の軽視であり強い懸念があるとの反対討論がなされ、起立表決の結果賛成多数でそれぞれ承認された。

一般質問

今定例会は、20名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

市長	佐喜真 淳
副市長	松川 正則
教育長	玉城 勝秀
水道事業管理者	和田 敬悟
総務部長	米須 良清
企画部長	米須 清盛
基地政策部長	伊佐 徳光
福祉推進部長	國吉 秀子
健康推進部長	比嘉 直美
建設部長	石原 昌恵
教育部長	島袋 清松
指導部長	仲村 宗男
消防長	浜川 秀雄
市民経済部次長	東川上 芳光

認知症対策について



宮城勝子議員

◎議員 認知症と認定された方は市内に何名いるのかお伺いしたい。

◎健康推進部長 平成二十六年三月末時点で千八百四十九名となっている。

◎議員 認知症の方はどのような介護サービスを利用しているのかお聞きしたい。

◎健康推進部長 在宅介護の方は食事や入浴等の専門的なケアを受けており、グループホームに入所されている方は食事や入浴等のほか、機能訓練を受けている。

◎議員 御家族の負担を軽減する対策は行っているか。

◎健康推進部長 定員九名のグループホーム、定員十二名のデイサービスをそれぞれ二施設指定する予定である。また、認知症地域支援推進員の新規設置や地域包括支援センターの職員を一名増員するほか、認知症サポーター養成講座も行っている。

◎議員 ぜひ、高齢者に優しいまちづくりを進めていただきたい。

F Mぎのわんの開局について



桃原 朗議員

◎議員 F Mぎのわんの事業主体についてお伺いしたい。

◎企画部長 株式会社F Mぎのわんが運営すると伺っている。

◎議員 開局はいつごろを予定しているか。

◎企画部長 ことしの九月ごろを予定していると伺っている。

◎議員 市はどのような支援を予定しているのかお聞きしたい。

◎企画部長 具体的な相談があれば、目的を勘案しながら支援について検討してまいります。

◎議員 開局した場合、市としてどのように活用するのかお聞きしたい。

◎企画部長 市の情報や、防災情報等が提供できるものと考えている。開局後、具体的に検討してまいります。

◎議員 情報発信という観点から、非常に期待できると考えている。ぜひ、市としてどのような支援が可能か検討していただきたい。



ことし 9月開局予定のFMぎのわん (市喜友名Gタウンビル2階)

公立小学校における道徳教育のあり方について



桃原 功議員

◎議員 市内の公立小学校入学時に「道徳の授業は国を愛する心を育てる」と説明を受けた方がいるとのことだが、そのような事実を把握しているか。

◎指導部長 学校に聞き取り調査を依頼したが、そのような事実は確認できなかった。

◎議員 道徳の授業では教科書を使用せず、副読本を使用しているとのことだが、文

部科学省が発行したものを使用しているのか、それとも沖縄県が発行したものを使用しているのかお聞きしたい。

◎指導部長 文部科学省が発行している「私たちの道徳」

沖縄県教育委員会が発行している道徳教育郷土資料「守礼」に加え、学校独自で出版社から直接購入した副読本の三冊を活用している。

◎議員 ぜひ、沖縄県教育委員会が発行している副読本を活用し、沖縄県の歴史をしっかりと踏まえ、事実を教える道徳教育を行っていただきたい。

点字方式ごみ袋の導入と障がい者雇用について



伊波一男議員

◎議員 当該ごみ袋は開口部に凹凸がついており、宮古島市では、凹凸のプレスを障害者の方々に業務委託している。

そこで、本市も障害者雇用の促進の観点から、宮古島市と同様に取り組んでいただきたいが、いかがか。

◎市民経済部次長 障害者の雇用状況等の把握や関係部署と連携して点字式指定ごみ袋の導入の検討を含め、調査、

研究してまいります。

◎議員 既に宮古島市で導入しており、また、本市では障害者優先調達推進方針を打ち出していることや障害者雇用の場をふやすためにも導入に向けて市長を先頭に取り組んでいただきたいが、いかがか。

◎市長 ことしの二月に宮古島市から関係者が来訪し、点字式ごみ袋の導入に係る要請を受けた。また、導入については、予算等が伴うため、研究等を要するが、前向きに取り組んでまいります。

◎議員 ぜひ前向きな取り組みをお願いしたい。

蚊を媒体とした感染症の発生防止の取り組みについて



◎市民経済部次長 電話で対応できる事例であれば、環境づくりの内容を説明し、それ以外の場合は、当該場所の状況を確認後、土地の所有者等に連絡し、現状に適合すると思われる指導を行っている。

◎議員 昨年夏、蚊を媒体とした感染症が国内で発生し話題になったが、本市の蚊の発生防止策について伺いたい。

◎市民経済部次長 蚊が産卵等をできない環境づくりが大切であり、不なたまりを

つくり、雑草の除去、散水用の水槽にふたをするなどの環境づくりを指導している。

◎議員 蚊の発生に係る苦情等の対応について伺いたい。

中小企業・小規模企業・小企業振興基本条例について



◎議員 当該条例に財政措置や金融機関の役割、振興会議の位置づけを明文化していない理由をお聞きしたい。

◎市民経済部次長 条例に財政措置の規定はないが、厳しい財政状況も踏まえ、予算が伴わずともできる振興策を考

えている。次に、金融機関の役割は重要で中小企業を支援していく関係機関として位置づけ、専門的な立場としても

◎議員 課題を十分理解していただき、改善を行うことでよりよい施策に期待したい。

志真志小学校校舎増築事業について



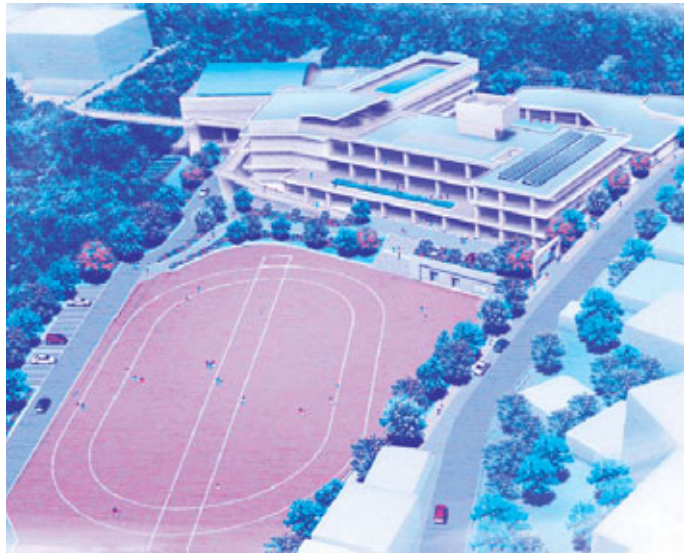
◎教育部長 幼小連携を図るとともに、学校及び保護者等と協議の上、園児の送迎にも配慮し、道路側へ配置した。

◎議員 今年度以降の事業計画について説明いただきたい。

◎教育部長 今年度は基本実施設計を行い、翌年度から幼稚園園舎及び体育館の建て

かえ工事を実施し、平成二十九年度から三年度にかけて、校舎の建てかえ及び屋外環境整備を実施する計画である。

◎議員 幼稚園の配置計画が現在の位置より道路側へ変更となった理由を伺いたい。



志真志小学校、志真志幼稚園建てかえに係るイメージパース

市立保育所の保育士確保について



◎福祉推進部長 三公立保育所の定員は三百二十名であるが、保育士が確保できず、六月現在の入所者数は二百九十名となっている。

◎議員 公立保育所への保育士の配置状況をお聞きしたい。

◎福祉推進部長 公立保育所における保育士は野高保育所

十六名、うなばら保育所二十四名、宜野湾保育所二十七名を配置しているが、それぞれ産休代替等で配置数が足りていない状況がある。

◎議員 現在の公立保育所の定員に対し、保育士の数が不足していることから保育所が

普天間飛行場の危険除去と早期返還について



◎議員 翁長知事は就任後、普天間飛行場へ現状視察に訪れたことがあるか伺いたい。

◎基地政策部長 本市を介した視察は一度もない。

◎議員 普天間飛行場負担軽減推進会議の開催状況について、説明をいただきたい。

◎基地政策部長 これまでに推進会議が三回、同作業部会は五回開催され、昨年十月を最後に開催していない。市と

しては引き続き当該会議の再開を含め、負担軽減に向け努力していきたいと考えている。◎議員 翁長知事には、ぜひ普天間飛行場の現状を見ていただき、政府に対し、負担軽減推進会議の開催を求めている。また、市は同飛行場の固定化反対、早期返還に向けてどのようにお考えか。◎基地政策部長 市が率先して取り組み、進捗が停滞するようであれば、固定化阻止の意思表示を県内外に向けて発信していくことが必要と考えている。

伊佐市営住宅跡地の利用計画について



宮城 司議員

◎議員 当該跡地利用計画に係る検討委員会の進捗状況等をお伺いしたい。

◎総務部長 売却予定の事業者と調整を行う中で、当該要請内容について施設計画へ取り入れていただくよう協議、要請をしてみたい。

◎議員 当該計画を進める上で、地域住民への説明会やアンケート調査を実施する予定はあるのか、お伺いしたい。

◎総務部長 地域住民への説明会等は、日程等も含め今後検討してまいりたい。

◎議員 地域住民も大変気にかけているため、地域住民が納得して進められる体制をぜひつくっていただきたい。

子育て支援ブックスタート事業廃止について



岸本一徳議員

◎議員 事業見直しにより当該事業について廃止の方向性を示した理由をお伺いしたい。

◎教育部長 第五次行財政改革大綱等に基づき、平成二十八年より事業の廃止、統合改善に取り組む、より効率的で質の高い行財政運営を行うための事業見直しを実施した。当該事業についても見直しの方向性が示されているが、平成二十八年以降も本事業の趣旨が生かせないか関係部署と協議を進めてまいりたい。

◎議員 今まで積み重ねた意義や効果をなくさないために、再度全庁的に協議を行っていただきたいが、いかがか。

◎副市長 当該事業に係る効果については非常に高く評価しているが、他の事業と重複している部分もあるため、完全に廃止をするということではなく、事業として一つに見直しができないかということについて御理解いただきたい。

◎議員 子供たちのためにもぜひ残していただくよう検討をお願いしたい。

◎議員 当該跡地利用計画に係る検討委員会の進捗状況等をお伺いしたい。

◎総務部長 売却予定の事業者と調整を行う中で、当該要請内容について施設計画へ取り入れていただくよう協議、要請をしてみたい。

◎議員 当該計画を進める上で、地域住民への説明会やアンケート調査を実施する予定はあるのか、お伺いしたい。

◎総務部長 地域住民への説明会等は、日程等も含め今後検討してまいりたい。

◎議員 地域住民も大変気にかけているため、地域住民が納得して進められる体制をぜひつくっていただきたい。

長田地区コミュニティ供用施設建設事業の進捗状況等について



米須清正議員

◎議員 長田地区コミュニティ供用施設建設事業の進捗状況についてお伺いしたい。

◎市民経済部次長 基本設計は完了し、現在は実施設計を行っている。平面計画は七月末に完了する予定である。

◎議員 本工事までの工程をお聞きしたい。

◎市民経済部次長 長田地区コミュニティ供用施設及び児童館の本工事は約七カ月かかる。実施設計が七月に完了しても、今年度中の工事完了は難しいため、次年度へ予算を繰り越す手続きを行った上で、沖縄防衛局へ補助金の交付申請を行う必要がある。九月議会で繰り越し承認をいただいた後、交付決定を受け、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第二条に基づき、十二月議会まで本工事に係る議会の議決を経て、来年の一月に本工事に着工する予定である。

◎議員 施設及び周辺の整備に向け、しっかりと取り組んでいただきたい。



長田地区コミュニティ供用施設及び児童館イメージパース

◎議員 概略設計を入れる前に試算をしてみてもどうか。当該箇所にはボックスカルバート部分や河川敷部分があり、用地確保も最小限で済むし、沿道の土地が活用されれば、税収アップにもつながると考える。事業化がさらにおくれると物件補償などに時間がかかり、整備自体に悪影響を及ぼさないか。

◎建設部長 道路整備事業には経済比較も不可欠であり、現道整備や提案のあった件も含め検討してまいりたい。

◎議員 ぜひ、一日も早い道路整備をお願いしたい。

人材育成交流センターめびき前道路の整備計画について



我如古盛英議員

◎議員 当該道路周辺は急激に開発が進んでおり、道路整備の優先度も高くなっていると思うが、市当局の認識についてお聞きしたい。

◎建設部長 当該道路周辺は近年、民間による開発が進み、建築件数や交通量も増加していることから、優先度が高くなっていることは認識している。事業化については関係部署と協議を続けてまいりたい。

地域防災計画について



石川 慶議員

◎議員 地域防災計画に基づき、現在六カ所所自主防災組織が立ち上がっているが、今後の計画について伺いたい。

◎総務部長 西海岸地域はできる限り早く、また、ほかの地域についても早めの立ち上げを呼びかけてまいりたい。

◎議員 自主防災組織の立ち上げ後、各自治会予算の中でさまざまな活動等を行うことになる。自治会予算からの捻出も大変厳しい状況がある中で、ぜひ、自主防災組織に対する補助金を予算化していただきたいが、いかがか。

◎総務部長 現在、自主防災組織を立ち上げた際には、補助金として一団体につき十万円を一回限り交付している。毎年の補助金の予算化については、今後、関係部署と協議の上、検討してまいりたい。

◎議員 各自主防災組織においては、地域に合った活動をいろいろ行いたいとお話もあつた。ぜひ、早めに補助金を予算化していただけるよう、取り組みをお願いしたい。



安仁屋郷友会より移設の要望がある安仁屋地域の拝所

安仁屋地区「うがんじゅ」の移設について



◎議員 今後、郷友会としても正式な要請をしたいとのことであり、その思いをしっかりと酌み取っていただきたいと思うが、いかがか。

◎議員 安仁屋地域の拝所は返還されないキャンプ瑞慶覧内に残ったままである。安仁屋の方々には、拝所だけでも今回返還された一部地域に移設できないかとの思いがあるが、その要請は公式に行われているのか。
◎基地政策部長 正式な要請等は受けていないが、当該要望については、地元協議会や新聞報道等で確認している。

◎基地政策部長 字安仁屋集落へも住宅ゾーンを設けており、地権者との相談によって移設場所の確保は可能と考えるが、移設費用を市が支出することは、区画整理事業の趣旨からも厳しいと考えており、他の補助金等のメニューがないか研究してまいりたい。
◎議員 ぜひ、安仁屋郷友会に対して手を差し伸べていただきたい。

障がい者の市職員採用について



◎総務部長 今後開かれる試験委員会において審議をし、次年度の組織体制を勘案した上で実施するかどうか判断するため、現時点ではまだ決定していない。

◎議員 本市の市長部局と教育委員会の障害者の法定雇用率をお聞きしたい。
◎総務部長 六月現在、市長部局が二・三%の基準に對し三・〇八%、教育委員会においては二・二%の基準に對し三・六二%と基準を満たしている。
◎議員 去年は採用がなかったが、今年度は採用試験を予定しているのか伺いたい。

キャンプ瑞慶覧の跡地利用計画について



◎議員 安仁屋地区にある拝所は、今回の返還予定地に含まれていないため、安仁屋郷友会が拝所移設の要請を行う予定である。要請がなされた際は、ぜひ前向きに検討していただきたいが、いかがか。

◎基地政策部長 安仁屋郷友会の拝所移設については、地元協議会において安仁屋地区代表の評議員からも聞いており、地権者との相談によって

消防共同指令センターの運用に伴う利点等について



◎議員 各自動車両のモニターにも表示され、ナビ機能により現場まで最短距離で到着可能なルート案内ができる。

◎議員 当該指令センターの運用に伴うメリットについてお伺いしたい。
◎消防長 今回指令センターへ設置する指令装置は、一九番が入ると通報者の位置が自動的に表示され、さらには災害の種類に応じて自動的に一番早く現場に到着できる車両を選別し出動指令をかけるものがある。また、災害地点表示は消防署内だけでなく、

辺野古新基地建設に対する市長の見解について



◎議員 国が辺野古へ新基地建設を推し進めていることに対する市長の見解を伺いたい。

◎基地政策部長 宜野湾市民の生命、財産を守る立場から一日も早い危険性の除去を強く求めているが、移設先については政府が責任を持って対応すべきと考えている。
◎議員 この間幾度となく選挙において、辺野古へ基地はつくらせないと審判を下してきた。市長は危険性の除去と云うのであれば、県民に押しつけるのではなく、なぜ公約どおり県外と言わないのか。県外とは一言も言わないが、公約は投げ捨てたのか。
◎市長 日米両政府が、普天間飛行場の返還の原点である危険性の除去をないがしろにするような、固定化ということを平気で行うことについては断固として反対し、それを阻止しなければならない。それが公約の一番大切な部分である。市民を代表して一日も早い返還を勝ち取るのが私の役割である。

慰霊の日事業と
平和学習派遣事業
について



屋良千枝美議員

【議員】 平和学習派遣事業は、市内の中学生を長崎へ派遣する事業であるが、当該事業の目的や長崎で学んだことをどのように報告するのか、お伺いしたい。

【企画部長】 当該事業は、戦争を知らない子供たちに平和を希求する意識の啓発を目的としている。また、研修内容については、慰霊の日事業のイベントの中で発表の場を設け、多くの市民に向けて報告を行っている。

【議員】 当該事業は、戦争の悲惨さや平和のとうさを学ぶ大切な事業であると考えているが、本事業の重要性や必要性について教育長の御見解をお伺いしたい。

【教育長】 当該事業は命のとうさや平和の大切さを学ぶ大事な事業であり、今後とも本事業を継続してまいりたい。

【議員】 今年度は、戦後七十年の節目を迎えることから、命のとうさを受け継ぎ、そして考え、平和事業を展開していただきたい。

議会基本条例制定に向け各種団体との
意見交換会を開催

【意見交換会】

- 七月二十一日
- ▼自治会長会
- ▼老人クラブ連合会
- 同月二十二日
- ▼女性団体連絡協議会
- ▼青年連合会
- ▼PTA連合会
- 同月二十三日
- ▼商工会
- ▼宜野湾青年会議所

議会改革に関する調査特別委員会は議会基本条例の制定に向け、市内各種団体との意見交換会を開催した。

各種団体からは、年四回の定例議会以外の議員活動の内



自治会長会、老人クラブ連合会との意見交換会



商工会、宜野湾青年会議所との意見交換会

容や、議員と市民が意見交換を行える場の設置、議員が地域の行事や各種団体等に積極的に出向いての意見交換や議会報告の実施、議会基本条例制定の意義やその効果、議会映像の配信、理念的ではなく、政策的な条例の実現、市政に要望等があった。

議員からは、いただいた多くの意見や要望は持ち帰り整理・検討するとともに、よりよい議会基本条例の制定に生かしてまいりたいとの回答を行った。

経済建設常任委員会の所管事務調査

【所管事務調査】

七月十四日

- ▼北中城村役場
- 「北中城村アワセ土地区画整理事業について」
- ▼イオンモール沖縄ライカム
- 「概要及び今後の課題について」

●北中城村役場では、北中城村アワセ土地区画整理事業について説明を受けた。委員からは、企業誘致の経緯や地域防災拠点としてのあり方等について質問があり、企業誘致については、複数の企業からイオンモールを選定した経緯について説明を受けた。地域防災拠点については、災害時



北中城村役場で説明を受ける市議団



イオンモール沖縄ライカムで説明を受ける市議団

にイオンモールや中部徳洲会病院と連携を図るとともに建設予定である村立アリーナを避難施設として使用することや、LNG（液化天然ガス）による電力供給等について説明を受けた。

●イオンモール沖縄ライカムでは、施設の概要等についての説明を受けた。委員からは、周辺商店街や地域とのかかわり等についての質問があり、イオンモールが県内外から集客することにより、周辺商店街にも波及効果があることや地域の催しの際に駐車場を提供すること等で地域と連携したいとの説明を受けた。

今年度から宜野湾給食センターの調理業務等が民間業者に委託されたことに伴い、福祉教育常任委員会の委員が試食会へ参加し、安全・安心な給食の意義を確認した。



宜野湾中学校給食風景（山城康弘議員）



宜野湾中学校給食風景（桃原朗議員）

市議会を傍聴
してみませんか。

本会議は、一般に公開されており、傍聴受付で住所、氏名等の記入を行えば、どなたでも傍聴することができます。

九月定例会は、九月四日（金）に開会予定となっております。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

第391回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	件名	議決結果
議案第39号	平成27年度宜野湾市一般会計補正予算(第1号)	原案可決(賛成多数)
議案第40号	宜野湾市中小企業・小規模企業・小企業振興基本条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第41号	宜野湾市ターウムの日に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第42号	宜野湾市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第43号	宜野湾市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第44号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
議案第45号	宜野湾市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申可決(全会一致)
決議案第3号	米国ハワイ州ペローズ空軍基地におけるオスプレイの事故に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第7号	米国ハワイ州ペローズ空軍基地におけるオスプレイの事故に関する意見書	原案可決(全会一致)
決議案第4号	マスコミ報道による百田尚樹氏の沖縄侮辱発言に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第8号	「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書	否決(賛成少数)
意見書第9号	北朝鮮による日本人拉致問題等の早期解決を求める意見書	原案可決(全会一致)
報告第2号	平成26年度宜野湾市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第3号	平成26年度宜野湾市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第4号	平成26年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第5号	平成26年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第6号	平成26年度宜野湾市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
報告第7号	平成27年度宜野湾市土地開発公社事業計画、予算及び資金計画について	報告
報告第8号	平成26年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業報告及び決算報告について	報告
報告第9号	平成27年度株式会社ティ・エム・オ普天間事業計画及び収支予算について	報告
報告第10号	宜野湾市国民保護計画の作成について	報告
陳情第22号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第23号	子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める要請	閉会中の継続審査
陳情第24号	沖縄県出身の特定失踪者の救出についての陳情	採択(全会一致)
陳情第25号	伊佐市営住宅跡地の有効利用について	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査(調査)申し出について 陳情第10号 期日前投票所を大規模集客施設へ設置することについて 陳情第19号 個人住民税(市町村民税)に係る特定寄付金対象施設の指定に関する要望 陳情第25号 伊佐市営住宅跡地の有効利用について 調査事件 総務行政に関する事務調査、企画行政に関する事務調査、基地行政に関する事務調査、消防行政に関する事務調査、会計行政に関する事務調査、選挙管理行政に関する事務調査、監査行政に関する事務調査	承認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査(調査)申し出について 陳情第13号 耐震診断費用の自己負担軽減について 陳情第17号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情 調査事件 市民経済行政に関する事務調査、建設行政に関する事務調査、水道事業に関する事務調査	承認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査(調査)申し出について 陳情第6号 幼稚園教育の制度改善について 陳情第7号 「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情 陳情第8号 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情 陳情第12号 平成27年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第16号 受動喫煙防止条例の制定等受動喫煙防止諸施策の強化を求める陳情 陳情第22号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情 陳情第23号 子宮頸がんワクチン接種後の副反応被害の早期解決を求める要請 調査事件 福祉行政に関する事務調査、健康行政に関する事務調査、教育行政に関する事務調査	承認 (福祉教育常任委員会)
	閉会中の継続審査(調査)申し出について 陳情第20号 本会議(議会開会中)の各自治会(公民館)への映像配信について	承認 (議会改革に関する調査特別委員会)

第390回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	件名	議決結果
議案第35号	平成27年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(賛成多数)
議案第36号	宜野湾市税条例に関する専決処分の承認について	承認(賛成多数)
議案第37号	宜野湾市国民健康保険税条例に関する専決処分の承認について	承認(賛成多数)
議案第38号	固定資産評価員の選任について	同意(全会一致)